



SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2012~2013年度 RI会長 田中 作次
RIテーマ Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

クラブテーマ「チ・カ・ラを出そう」会長 太田政人

副会長 山本良一 幹事 石井司人

第1114回 例会

2011.11.9(金)晴

司会:石井和郎君 指揮:久保栄子君
ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F

TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 太田政人君



「世界でよいことをしよう」、これはロータリー財団の標語です。世界でよいことをするためにロータリー財団は毎年多額の補助金を拠出してきています。

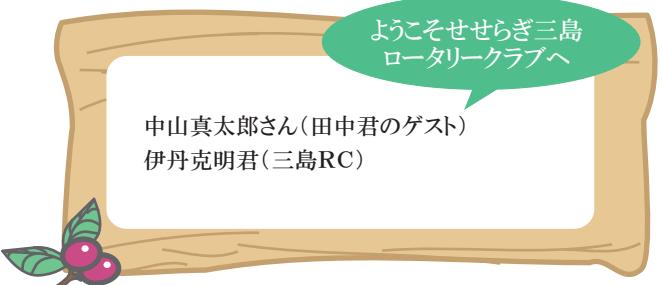
「ロータリーの友」11月号にRI指定記事『GLOBAL OUTLOOK

ロータリアンのための新しい財団補助金入門』が掲載されています。それによりますと、「3種類の補助金1つのビジョン」と題して2013年7月1日ロータリー財団は全ロータリー地区に新しい補助金モデル「未来の夢」を導入します。未来の夢では、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修といった、従来からの主な奉仕の機会が残される一方で、この新モデルによってプログラムが簡素化され、クラブと地区がより持続可能性の高いプロジェクトを実施できるようになります。これまでには、大規模で影響力の高い活動に充てられた財団の補助金は、プログラムの年次予算の20%にすぎませんでした。未来の夢では、この割合を80%に高めることを目標としています。これまで12種類あった補助金が3種類になります。

3種類の補助金とは、新地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラントです。来期はせせらぎ三島ロータリークラブも自由度の高くまた多額に拠出されるこの新地区補助金を有効に活用できるプロジェクトを展開していくたいと思います。会長挨拶として簡単に触れさせていただきましたが、詳しくは、ロータリーの友11月号をお読みください。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

中山真太郎さん(田中君のゲスト)
伊丹克明君(三島RC)



| 出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	27/35	77.14%	31/35	88.57%
今 回	26/35	74.29%	会員総数	36名

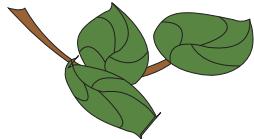
欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

内田君、遠藤君、大房君、片野君、加藤君、杉山(隆)君、中村君、宮沢君、望月君

おめでとう

会員誕生日 11月10日 岡 良森君

今日の料理



卓話

中山真太郎さん

始めまして、中山真太郎と申します。

この場に来る事が出来て光栄に思います。

田中社長とは今から3年前、東京で共通の方を通じてお知り合いになりました。その時に自分のレース活動のお話しさせて頂き以来、レース活動を支援して頂いております。

僕はレーサーです。ただレーサーと言っても職業レーサーではありません。レースを走る為に仕事をし、スポンサー活動して、同じ目標を持った仲間と共に全日本ロードレースという日本国内TOPの選手権を戦っております。全日本ロードレースには2004年からフル参戦をしており、予選を突破するにもやっとの所から徐々に力をつけて2010年には日本ランキング5位という結果を残しました。

昨年は前年の成績を認められ、アジア選手権、インドネシアでレースをするチャンスを頂き初の海外レースに挑戦する事も出来ました。また今季におきましてはドイツのコンチネンタルタイヤ様の2輪での全日本初挑戦という事で抜擢を受け日本唯一のサポートライダーとなりコンチネンタルタイヤ様と挑戦、ランキング18位となりました。

自分は35歳になります、若くはありませんが、この競技、若さも大切ですが「積み重ねた経験」というものも大切です、自分はまだまだ確実に経験を積んでいます、そして勢いもあります！レースの世界も「継続は力なり」信じています。夢は鈴鹿8時間耐久での優勝、その為に全日本ロードレースを継続して戦い、力を付けていきます！

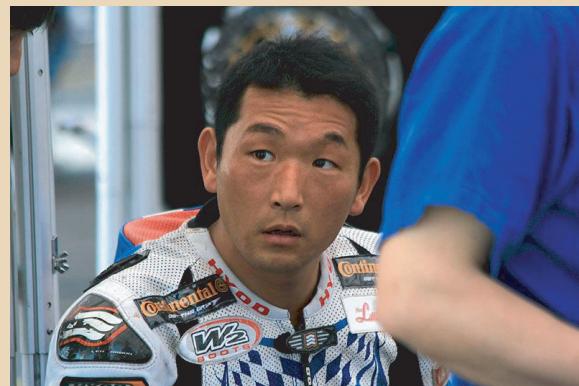
毎年、この時期というのは心が不安になります。それは「来年自分はレーサーやっているんだろうか？」という気持ちになってしまふからです。先も申しあげたように自分は職業レーサーではありません、ましてや大きなチームに所属している訳でもメーカーから正式な支援を受けている訳ではありません、完全なプライベーターです。レースをする為に、自分でバイクをサーキットまで運び、自分で参戦資金を集め、メカニックさんにお願いし、壊れた部品は購入しながらチームの運営をしております、毎年の事、いや毎戦、常に「走る」事で精いっぱいです。

全日本ロードレースを続けて来て長いですが、毎年本当に綱渡りのような運営状況の中でレースを続けてきました。毎年参戦するためにはとてもじゃないですが個人では負担できないほどの経費が掛かります、そして世の中はどんどん悪い状況に流れて来ていて、レースを続ける上で猛烈な逆風が吹く中活動しております。

自分でも「良く続けてこられたな」と自分でもびっくりしています、ただ厳しい中でも、田中社長と出会ったように本当に信じられないような大きな出会いがあり継続していくことが出来ました。

来年に向けて現在の所白紙状態ですが、自分が続けて来ることが出来るのも多くの支援者様のおかげです、その方々の期待に応えるためにもバカ前向きに継続に向けて、そして日本一に向けて取り組んでいきます。

PHOTO GALLERY



第6回理事役員会報告

平成24年11月2日 7時30分～8時00分

会議場 ブケ東海三島

出席者 太田政人 石井邦夫 山口雅弘
加藤正幸 兼子悦三 山本良一
宮澤正昭 根津延和 久保栄子
土屋 巧 石井司人 岡 良森

欠席 渡邊、小林

司会者 石井司人 記録者 加藤正幸

①クラブフォーラムの件

11/16日山本次年度会長による25周年記念例会についてクラブフォーラム開催

②タイ自転車贈呈式の件

11/16日結団式行う。当日餞別スマイルお願いする。

参加者16名は追加費￥15,000

領事館にて食事会あり(ジャケット・ネクタイ着用)

③クリスマス例会の件

12/21(金)ともしび歌謡団・タイ踊りなど前年度より引き続き大槌町物産品販売

親睦会費より20万手当て

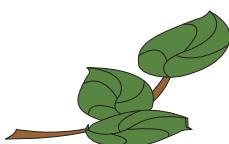
委員会報告

国際奉仕委員会

山口雅弘君

「スリウォンRC塩谷会長より、バンコク週報に記載された自転車贈呈にかかる記事が届きました。

これによりますと、現在91回の日本からの自転車贈呈が実施されたおり、こども達は通学時間が1時間から15分に短縮され非常に喜んでいるといった声も上がっている。在タイ国日本大使館 石川書記官によれば「この事業では社会福祉局が中古自転車の輸入関税免除に尽力されるばど、多くの善意が結集している。」と評価。また、マナリアント社会福祉事務所長は「自分も中学卒業まで歩いて通学した。こども達の感動がよくわかる」とし、さらなる延長を求めた。



スマイルボックス

杉山順一君：今日スマイルを預かったとき、岡先輩の1枚しかなかったのでスマイルしました。誕生日おめでとうございます。親睦委員長頑張りますよ～。

山口雅弘君：ヤせる思いで仕事をしたので上期生保のベストエージェントにノミネートされました。本日、東京のプリンスホテルで“キリタニ ミレイと武田鉄也”をゲストに表彰式でしたが例会に出たかったので代役をたてました。

岡 良森君：この1か月何かと忙しくしてました。ちょっとまとまった仕事が決まりほっとしているところです。

岡 良森君：明後日、11日は日大キャンパス8号館で国際交流フェアが行われます。楽しいイベントですのでお寄りください！

田中錦城君：初めての卓話、初めてのスマイル、初めてがいっぱいの錦城です。P. S. 初めての卓話、代打で申し訳ございません。中山君、ファイト！

PHOTO GALLERY

